

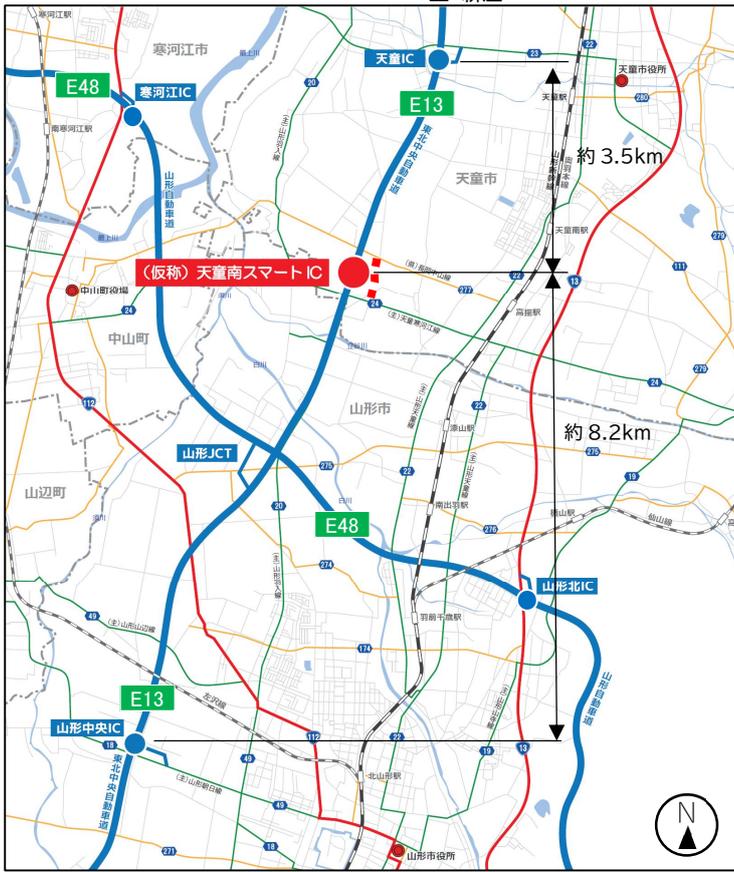
再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 環境安全・防災課
担当課長名: 水野 宏治

事業名	スマートICアクセス 市道(仮称)スマートインター1号線	事業区分	地方道	事業主体	山形県天童市
起終点	自: 山形県天童市大字高楯 至: 山形県天童市大字高楯			延長	0.5 km
事業概要					
市道(仮称)スマートインター1号線は、(仮称)天童南スマートインターチェンジの1次アクセス道路であり、利便性向上による物流の効率化や緊急搬送時間短縮、観光振興を目的とし、延長約0.5kmを整備するものである。					
R3年度事業化	- 年度都市計画決定 (- 年度変更)	R4年度用地着手	R4年度工事着手		
全体事業費	約5.3億円	事業進捗率	約50%	供用済延長	— km
計画交通量	5,800台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 2.7/5.4 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 30/30 億円	基準年 令和6年
	5.6		事業費: 2.5 / 5.2億円	走行時間短縮便益: 27/27 億円	
	対参考 8.3 [2%]	19.5%	維持管理費: 0.20/0.20億円	走行経費減少便益: 3.0/3.0 億円	
	対参考 10.5 [1%]		更新費: - / - 億円	交通事故減少便益: 0.60/0.60 億円	
	(残事業)	(残事業)	感度分析		
11.5		(事業全体)	(残事業)		
対参考 16.0 [2%]	49.3%	交通量 B/C=5.0~6.1(±10%)	交通量 B/C=10.3~12.6(±10%)		
対参考 19.3 [1%]		事業費 B/C=5.1~6.2(±10%)	事業費 B/C=10.4~12.7(±10%)		
		事業期間 B/C=5.3~5.9(±20%)	事業期間 B/C=10.8~12.1(±20%)		
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・東北中央自動車道へのアクセス性向上により市南部の工業団地からの運送時間短縮や生産性向上が図れる。 ・(仮称)天童南スマートインターチェンジを活用した新たな観光周遊ルートの形成が図れる。 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民と合意形成を図っている。 ・観光物産協会、工業団地組合、地元町内会等から、本事業の早期完成を要望されている。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約50%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
工事は順調に進捗しており、引き続き早期供用開始を目指し、工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も建設発生土の有効活用の検討を進め、更なるコスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図

全体図



位置図



拡大図



至 福島

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)